

血液検査・婦人科検診の目的

血液検査

肥満度	身長・体重から現在の肥満度を測定します。肥満は高血圧、糖尿病の発症に密接に関与しています。
血圧	血圧が高いまま妊娠すると、妊娠高血圧症候群などの妊娠合併症のリスクが高くなることが知られています。
尿検査	慢性腎臓病の早期発見に有用な検査です。
貧血	貧血の有無を調べます。貧血は女性に多い疾患ですが、妊娠の負荷がかかるとさらに貧血に陥りやすくなります。
白血球数	白血球数に異常がないか調べます。白血球には身体を異物から守るための免疫機能を有しています。
血小板数	血小板数に異常がないか調べます。血小板は止血に重要な働きをしています。
栄養	これから妊娠を考える上で、栄養状態に問題がないかどうかを確認します。
肝機能	肝障害の有無を調べます。
腎機能・電解質	腎機能・電解質バランスを調べます。
脂質代謝	脂質異常症の有無を調べます。
糖代謝	妊娠初期にお母さんの血糖コントロールが悪いと先天異常を合併する確率が高くなることが知られています。妊娠してから糖尿病が見つかったということがないようにしましょう。
甲状腺機能	甲状腺ホルモンのバランスが悪いと不妊症や流産の原因になることもあります。妊娠前に甲状腺ホルモンのバランス評価をしておきましょう。
梅毒	梅毒の感染を調べる検査です。妊娠中・出産中の母子感染を防ぐためにも、妊娠前からチェックしておきましょう。
B型肝炎・C型肝炎	B型、C型肝炎ウイルスの感染を調べる検査です。出生後の母子感染予防や、対策のために重要です。
麻疹・風疹・水痘	先天性風疹症候群に代表されるように、妊娠初期に罹患すると生まれてくる赤ちゃんに先天異常を引き起こす可能性のあるウイルス感染症があります。ウイルス抗体価が低い場合には、妊娠前にワクチン接種することをお勧めします。

婦人科検査

クラミジア感染症・淋菌	最も多い性行為感染症であり、子宮・卵管の炎症が進行すると不妊症の原因になります。
経膈超音波検査	子宮および卵巣に異常な所見(子宮筋腫、卵巣のう腫など)を調べます。
子宮頸部細胞診	子宮頸がんの検査です。早期の段階で細胞の異常を見つけることが目的です。早期に発見・治療できれば、妊娠をあきらめるといった悲しい思いをせずに済みます。